

## 第 7 回

開催日時	平成22年5月25日（火曜日） 午後6時32分～7時42分	
開催場所	沼袋地域センター 洋室3号	
出席者	委員	長谷川嘉昭、笹川 五郎、内山佐和子、阿藤 敏子、鈴木 真司、古間 忍、亀井 京子、竹内 実、石久保敏子、柴田 恵、本間みどり、小林 尚美、隅田 亜弓、村越 昌昭、加賀田真理、内野 秀夫、千葉 千恵、吉村 恒治 (敬称略、順不同)
	その他	教育委員会事務局次長
	事務局	学校再編担当
傍聴者	0人	
会議次第	<b>【開会】</b> 1 統合委員会委員の変更等について <b>【議事】</b> 1 統合新校の校章の検討について 2 統合新校の校歌の検討について 3 各委員から推薦のあった校歌作者の候補について 4 その他	

## 第7回 丸山小学校・沼袋小学校統合委員会 会議要旨

## 委員長

定刻となったので、これより第7回統合委員会を開会する。  
本日、傍聴を希望する方はいないとのことである。

## 1 開会

## 委員長

初めに、教育委員会事務局において人事異動があり、4月1日付で教育委員会事務局次長に就任された合川次長が会場に来ているので、委員の皆様には挨拶をお願いしたいと思う。

—— 教育委員会事務局次長挨拶 ——

## 委員長

なお、合川次長は、本日最後まで統合委員会に出席したいとのことなので、これを承認したいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

### (1) 統合委員会委員の変更等について

#### 委員長

本日は、年度が変わって初めての統合委員会となる。統合委員会の委員においても、人事異動やお子さんの卒業等に伴って変更があったので、事務局より報告してもらう。

#### ■資料「統合委員会委員の変更等について」に沿い、事務局より報告

(概要)

〈辞職された委員（平成22年3月31日付）〉

前丸山小学校長 中澤保夫 委員

前丸山小学校副校長 伊野啓子 委員

〈新たに委嘱された委員（平成22年4月1日付）〉

沼袋小学校PTA 亀井京子 委員

幼稚園園児保護者 隅田亜弓 委員

丸山小学校長 村越昌昭 委員

丸山小学校副校長 加賀田真理 委員

#### 委員長

それでは、新たに委員になられた方々に自己紹介をお願いします。

—— 新委員自己紹介 ——

## 2 議事

### (1) 統合新校の校章の検討について

#### 委員長

それでは、議事に入る。

まずは、「統合新校の校章の検討」について、事務局より説明してもらう。

#### ■資料「校章デザインの募集結果について」に沿い、事務局より説明

(概要)

- ・ 前回の統合委員会での協議に基づき、以下のとおり校章デザインの募集を行った。

〈募集期間〉

平成22年3月18日（木）～4月30日（金）の44日間

〈応募用紙の配布及び応募箱の設置場所〉

沼袋地域センター、野方地域センター、丸山小学校、沼袋小学校の4か所

※丸山小学校、沼袋小学校の児童と保護者の方は、担任の先生への提出も可とした

〈応募件数〉

34件

- ・ 募集結果（応募された作品）をもとに、統合新校の校章について協議を進めてもらいたい。  
なお、応募された作品については、手書きのものが多く、校章としてそのまま使用することは難しいと思われるので、専門家にデザイン化してもらうことを考えている。

#### 委員長

事務局より説明があったが、意見等があればお願いしたい。

#### 委員

「25番」「26番」「27番」「33番」は、作品の説明を併せて見ると子どもたちの健やかな成長を願う思いや両校のよいところを残したいという思いがよく表現されている。私は、これら

の作品がよいのではないかと思います。

**委員**

「32番」は、校章としてはあまり見たことがないデザインだが、お皿の絵のようできれいだと思う。

**委員**

桜をモチーフにした作品がいくつかあるが、そのようにいろいろなポイントを挙げて選定していく方法もあるのではないか。

**委員**

大きく分けて、2つの種類がある。1つは両校の校章の特徴等を併せたもので、もう1つは全く新しいイメージのものである。これらのどちらを選ぶかという方向性は決めなくてよいのか。

**委員長**

方向性は決めなくてよいと思う。ふさわしいと思う作品を自由に選んでいき、各委員の意見をまとめていけばよい。

**委員**

これまでの統合委員会の中でも特に制約を設けないということで検討してきたので、私もふさわしいと思う作品を自由に選んでいけばよいと考えている。

**委員**

かなり細かな線等を使った作品があるが、実際に校章にしたときにうまく表現されるかどうか不安である。

**委員**

校章は、具体的にどういったものに使用されるのか。バッチ等の細かいものに使われることはあるのか。

**委員**

通学帽子や体育着、校旗等に使用されると思う。沼袋小学校では、通学帽子と校旗には刺繍で校章が入り、体育着にはプリントで校章が入っている。現在、バッチのようなものはない。

**委員**

校旗のような大きくしたときのことも考えて選んだほうがよい。

**委員**

私は、「9番」のような小学校らしい校章がよいと思う。

子どもたちが描いた作品には少し頼りないと思われるものもあるが、専門家にデザイン化してもらえばイメージが変わる場合もある。ただ、それがなかなか想像しにくい。

**委員**

「14番」もバランスを整えればおもしろそうである。

**委員**

私は、「29番」の2枚の葉で包み込むようなイメージが気に入っている。

**委員**

「25番」「26番」「27番」「33番」のように校章として完成に近い作品がいくつかあるが、どうしてもそちらに目が行ってしまい、手書きの作品との比較が難しい。手書きの作品の中からもう少し整えるとよくなるようなものを専門家にデザイン化してもらい、そのうえで検討するのがよいと思う。

**委員長**

ここまでの意見を集約すると、手書きの作品のうち各委員から挙げられた候補は「9番」「14番」「29番」「32番」の4点になる。それらをデザイン化することは可能なのか。

**事務局**

予算的に3～4点程度であれば、専門家にデザイン化を依頼することは可能である。

**委員長**

それでは、手書きの作品のうち各委員から挙げられた「9番」「14番」「29番」「32番」の

4点の候補をデザイン化してもらうこととし、次回の統合委員会で完成に近い「25番」「26番」「27番」「33番」と比較しながら選定していきたいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

## (2) 統合新校の校歌の検討について

### 委員長

次に、「統合新校の校歌の検討」について、事務局より説明してもらう。

■資料「校歌の歌詞に入れたい言葉等の募集結果について」に沿い、事務局より説明（概要）

- ・ 前回の統合委員会での協議に基づき、（校章デザインの募集と同時に）以下のとおり校歌の歌詞に入れたい言葉等（単語・フレーズ）の募集を行った。

〈募集期間〉

平成22年3月18日（木）～4月30日（金）の44日間

〈応募用紙の配布及び応募箱の設置場所〉

沼袋地域センター、野方地域センター、丸山小学校、沼袋小学校の4か所

※丸山小学校、沼袋小学校の児童と保護者の方は、担任の先生への提出も可とした

〈応募件数〉

29件、90種類

- ・ 前回の統合委員会の協議でこの募集結果を校歌の作詞者に参考として渡すことになったが、作詞者に渡すうえで修正などが必要かどうかを確認してもらいたい。

### 委員長

事務局より説明があったが、意見などがあればお願いしたい。

応募された言葉等の中には、現在の両校の校歌で使われているものもある。こうした言葉等をどのように扱うのか、また、統合新校の校歌に望ましくないものがあるかどうかなどを検討していきたい。

### 委員

これまでの統合の事例では、募集した言葉等のうち幾つくらいが校歌の歌詞に使われたのか。

### 事務局

概ね3つ～4つ、多いところでは6つくらいの言葉等が校歌の歌詞に採用された。

### 委員

緑野中学校の校歌の制作を依頼した方は、統合委員会の意向にあわせて何度か歌詞を修正してくれた。そのような制作者に依頼できるとは限らないので、現時点で募集した言葉等をよく点検しておく必要がある。

### 委員

“あれもこれも使ってほしい”ということになると作詞者が困ってしまうと思うし、応募された言葉等が全く使われないことになると募集した意味もなくなってしまふ。1つでも2つでもよいので使ってほしいということを伝えながら、この募集結果を作詞家に渡してもらえればと思う。

### 委員

「沼袋小学校」「丸山小学校」という言葉は、除いたほうがよいと思う。

### 委員

「へいわの森こうえんいきます」とあるが、野方小学校と沼袋小学校の統合新校の校名候補が平和の森小学校であり、混同しているのではないかと思う。これも除いたほうがよいような気がする。

### 委員

「明るい児童」「せいと」とあるが、“児童”“生徒”という言葉は校歌にあまり馴染まないと思う。「子ども」という言葉に置き換えればよい。

## 委員

「そのなはみどりの小学校」というフレーズがあるが、これは恐らく沼袋小学校の校歌の“その名は沼袋”を真似たものだと思う。統合新校の校歌の中には「緑野小学校」という言葉は含まれてくると思われるが、“その名は”というフレーズはなくてもよいのではないか。

## 委員

「みどりのしょうがくせい（緑野小学生）」というフレーズも、丸山小学校の校歌の“丸山小学生”を真似ている感じがするので、除いたほうがよいと思う。

## 委員

「まどをひらいて」というフレーズも、丸山小学校の校歌にあるので、除いたほうがよい。

## 委員

丸山小学校の特別支援学級は『たんぼぼ学級』であるが、応募された「たんぼぼ」という言葉がどのように使われるかが分からない。『たんぼぼ学級』だけを歌ってしまうような使われ方は望ましくないので、残すべきか除くべきか悩んでいる。

## 委員

こちらの意図しない使われ方をすることが考えられるのであれば、除いたほうがよいと思う。

## 委員

「わが子」という言葉は、保護者の視線から子どもを見た言葉というイメージがあり、校歌には適さないのではないか。

## 委員長

ここまで出された意見のほかに、現在の両校の校歌で使われている「あかるい（明るい）」「笑顔」「希望」等の言葉があるが、これらの扱いはどのようにするか。

## 委員

それらの言葉は、校歌では一般的な言葉なので、残しておいてよいと思う。

## 委員

同感である。それらの言葉は、よい言葉ばかりである。

## 委員長

それでは、ここまでの意見では、両校の校歌を真似たようなフレーズや保護者が使うような言葉等は除いたほうがよいということで、「明るい児童」「せいと」「そのなはみどりの小学校」「たんぼぼ」「沼袋小学校」「へいわの森こうえんいきます」「まどをひらいて」「丸山小学校」「みどりのしょうがくせい（緑野小学生）」「わが子」が挙げられている。ほかに意見がなければ、これらの言葉やフレーズを除いたうえで、校歌の作詞者へ参考に渡すということにしたいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

### (3) 各委員から推薦のあった校歌制作者の候補について

## 委員長

次に、「各委員から推薦のあった校歌制作者の候補」についてである。これについては、報告というかたちになる。事務局より報告してもらう。

### ■各委員から推薦のあった校歌制作者の候補について、事務局より報告

(概要)

- ・ 前回の協議に基づき、各委員から推薦していただいた校歌制作者の候補を報告する。
- ・ なお、これから校歌の制作者を選定していく関係から、本件については非公開とさせていただきたいと思う。

—— 了 承 ——

### (4) その他

**委員長**

それでは、本日の議事を終了する。

最後に、次回の日程調整を行う。

—— 日程調整 ——

**委員長**

次回は、7月8日木曜日午後6時30分から、沼袋地域センターで開催する。

本日の統合委員会は、これをもって閉会する。